

松禪寺報

<http://syozen.com>

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第44号

発行日 平成23年2月25日

涅槃会

二月十五日

微かすかにも笑えませ給たまい涅槃像ねはんぞう

2月15日はお釈迦さまが入滅された日で、全国の寺院では涅槃会を掲げるなどして報恩の法要が営まれます。

45年に渡って説法の旅を続けられたお釈迦様は、80歳になっておられました。自分の死期を予感されたお釈迦様は、一番弟子のアーナンダを伴って最後の説法の旅にでられます。クシナガラにほど近いマンガール林に滞在された時、このマンガール林の所有者である鍛冶屋チュンダの食事の供養を受けられました。この供養で後に激しい腹痛をおこされました。このことを知って驚き悔や



▲大涅槃像が祀られるクシナガラの涅槃堂

チュンダの家を出てクシナガラに向かわれたお釈迦様は、ヒランヤパティー河で沐浴をされ、2月15日に沙羅双樹の木の下で右脇を下に頭を北に向けて横臥されました。付き添っていたアーナンダに「悲しむことはない。盛んなる者もいつ

た仏成道の地(ブダガヤ)、5人の僧に初めて説法された初転法輪の地(ベナレス)、仏入滅の地(クシナガラ)、この4ヶ所を聖地として尊敬すること言い残しておられ、今も参拝者は後を絶ちません。

お釈迦様は、「成道前のスジャータの供養と、涅槃の前の供養は最大の功德がある。」と言われたといま



▲インド・クシナガラにある大涅槃像

茶毘に付され、その遺骨は八等分され、それぞれ舍利塔を建てて奉祀されました。

一般の人々に対してお釈迦様は、自身の思い出の地である、仏生誕の地(ルンビニ)、悟りを得られ

かは病に冒され、生ある者は必ず滅びるのだ。これからは自分自身を、私の教えを仏教の抛り所とし、その他のものを抛り所としてはならない。」と言い残して、息を引き取られました。お釈迦様の体は

護持会の決算や予算などが決まりました

平成 23 年度総代会及び評議員総会を開催

新年度の予算などを協議する松禪寺総代会を2月6日（日）午後（金）午前10時から、松禪寺で開催しました。参与（住職）、総代7人、会計1人、評議員11人が出席しました。

評議員会の冒頭、本堂において



▲評議員総会= 2月11日、松禪寺

涅槃会法要を行いました。本来は2月15日に行うべき涅槃会ですが、役員さんらが集まるせつかくの機会でもあり、松禪寺にある大きな涅槃図も見ていただきたいと思い法要を執り行いました。皆さんと一緒に

経をあげ、焼香してもら

い、その後に住職が少しだけ

お話をさせていただきま

した。これだけ大きな涅槃

図にもかかわらず、お寺に

あることを知らない人も多

くあり、今後このような

形で進めていき、檀家さん

に知ってもらえればと思

います。

会議では平成22年度の事

業と通常会計決算報告をは

じめ、特別会計決算報告、

祠堂金積立金の報告、霊園

の報告、霊園



▲総会に先立ち涅槃会法要も行いました

会計決算報告のほか、平成23年度の事業計画や会計予算を提案、すべて原案通り承認可決されました。

昨年度は山陰東教区において約

30年ぶりの開催となる定期御親

化授戒会が行われたほか、四国

八十八ヶ所霊場巡拝の開始など檀

信徒の参拝と親睦を深める事業を

行ってきました。23年度も引き続

き四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅を

はじめ、秋には本山団体参拝も開

催します。3月には、松禪寺で妙

心寺派布教師さんによる法話会を

開催するほか、山陰東教区では定例の坐禅会も行われます。これら事業への参加と協力を呼びかけました。

なお、この評議員総会に提出しました資料等につきましては、別途配布いたします。「松禪寺花園会資料」をご覧ください。

平成 23 年度

松禪寺花園会役員（敬称略）

- 参与 住職 高橋 乾峰
- 会長 西垣 勉（栗尾）
- 副会長 平石 義信（栗尾）
- 会計 柴田 巧（栗尾）
- 役員 平石 貞雄（佐田）
- 浅田 鑑三（久畑）
- 福田 春彦（平田）
- 榎本 好道（佐々木）
- 評議員 藤田 直治（栗尾）
- 酒井 敏則（栗尾）
- 藤田 和彦（栗尾）
- 西垣 源正（栗尾）
- 西垣 芳典（栗尾）
- 平石 義信（栗尾）
- 横谷 憲治（佐田）
- 三浦 三郎（佐田）
- 堂本 昌彌（佐田）



▲庫裡2階の屋根(矢印のところ)の垂木が折れました。

雪害のご報告

庫裡2階屋根の垂木折れる

年末から降り続いた今年の雪は、ずいぶん重い雪だったようです。お寺の庫裡2階の屋根、西側の垂木が1月30日(日)午前8時頃、折れました。すぐに庫裡の建設業者に電話をして現場を確認してもらいましたが、雨漏りなど

の心配もあるため、すぐに屋根の雪を下ろしてもらおうべく業者に依頼をしてもらいました。雪下ろしと境内の除雪に2日間かかりましたが、幸いに雨漏りはありませんでした。また、境内の薬師堂(村所有)の瓦も一部分が雪とともに落ちてしまいました。

2月6日開催の総代会で対応を検討しましたが、建物共済の給付額によってその差額をいかに捻出するかなどを協議しました。2月11日開催の評議員会においては、その協議を総代会に一任することで承認をいただきました。檀徒皆さまにはご心配をおかけしますが、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

- 評議員
- 浅田 利夫(久畑)
 - 榎本 正巳(平田)
 - 久世 善樹(佐々木)
 - 榎本 好道(佐々木)
 - 榎本はる子(佐々木)
- 以上

はるひがんえ 春彼岸会のご案内

新たなスタートを切りましょう。

大いなるものに抱かれ

さまざまな命を

いただいていることに

感謝しましょう

今年も彼岸が巡ってきました。

祖先を敬い、亡くなった人を偲ぶ先祖供養とともに、いただいた今ある命を喜び、感謝を捧げる大事な行事です。今、自分が存在するのは誰のお陰なのか、どれだけ多くの人に支えられているのか、この縁に感謝いたしましょう。

彼岸は、祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ時節ですが、「感謝」と「懺悔」の日でもあります。彼岸とは、「到彼岸」の略で、梵語のパーラミター(波羅蜜多)の意訳です。悟りの世界を「彼岸」といい、逆に迷いの世界を「此岸」といいます。私たちが「此岸」で苦しむのは、必要以上に物事に執着するからなのです。

左記のとおり彼岸会を執り行いますので、ぜひお参りください。そして、「感謝」と「懺悔」をして、

【春彼岸会のご案内】

- 日時 3月21日(月/春分の日)
- 8時30分 当番による調理開始
- 11時 彼岸法要
- 12時 お齋(食事)

火事御見舞い

すでにお聞き及びの人も多いかと思いますが、2月8日の夜、但東町佐田の横谷富雄さん宅が全焼する被害に遭われました。心よりお見舞い申し上げます。幸いにもご家族の皆さんはお怪我もなくご無事でしたので、先ずは安堵いたしました。また、横谷さんにはご心痛いかなばかりかとお察しいたします。松禪寺からは本山に罹災届を提出したほか、松禪寺花園会よりも些少なからお見舞いをいたしました。どうか、一日も早く平穏な生活を取り戻すされようお祈りいたしております。

松禪寺
松禪寺花園会

法話会のご案内

妙心寺派布教師さんによる定期巡教を開教

人に生まるるは難く、

いま生命あるは有難く、

世に仏あるは難く、

仏の教えを聞くは有難し。

（法句経第182番）

これは、法句經にあるお釈迦様のお言葉です。

日々仕事に追われ、あるいは目標を失い、今の暮らしがあることへの大切な何かを忘れてはいないでしょうか。

人に生まれてきたならいつかは死ぬ、このことを知識として理解はできても、せっかくだいだいた生命をどう活かすか、これはおろそかにしがちです。

そこで、自分自身の生き方を今一度見つめ直してみませんか。

今年には本山巡経師さんによる定期巡教を下記のとおり開教いたしますので、ぜひこの機会に心に“栄養”をつけて、希望と喜びのある暮らしの糧にしてください。



▲昨年の法話会にも多くの聴衆がありました。皆様のお越しをお待ちしております。

い。どなた様でも、自由にご拝聴ください。

【ご案内】

とき 3月15日（火）

午後2時（14時）開教

ところ 松禪寺

テーマ 『目覚める』～人間の尊さにめざめ自分の生活も他人の生活も大切にしましょう（生活信条）

巡教師 足立宜了師（岐阜県美濃加茂市・正覚寺ご住職）

第4回四国八十八ヶ所霊場巡拝のご案内

心のふるさとを訪ねて共に四国遍路の旅をしましょう

今年には春と秋の年2回、四

国八十八ヶ所霊場巡拝の旅を実施いたします。その第4回巡拝を次のとおり実施いたします。お一人での巡拝がなかなか困難な霊場巡拝を、住職

と一緒に旅する計画です。どうか、この機を有縁として一緒に巡拝して頂けましたら幸いです。4回目からの参加も大歓迎ですので、ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。一人でも多くのご参加をお待ちしています。

日時 平成23年4月25日（月）

～27日（水）二泊三日

巡拝先 37番～51番（15ヶ寺）

参加費 5万8千円（納経物、納経料は含みません）

申込締切 平成23年3月末日まで

宿泊先 足摺岬・第38番札所「金剛福寺」宿坊／道後温泉「椿館」

※初めて参加される方は、できる限り白目の服装で、輪袈裟と数珠



をお持ちになり、巡拝用具（金剛杖、数珠、輪袈裟）や納経物（軸、帳面、白衣など）などは巡拝先で必要なものを購入されれば良いと思います。お申し込みの際にご相談ください。